

# 会 議 録

## 1 会議名

令和4年度第2回上越市男女共同参画審議会（書面会議）

## 2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 第3次男女共同参画基本計画に基づく令和3年度取組実績について（公開）
- (2) 第3次男女共同参画基本計画に基づく令和4年度実施計画について（公開）

## 3 開催日時

令和4年8月25日（木） ※意見等の回答期限日

## 4 開催場所

—

## 5 傍聴人の数

—

## 6 非公開の理由

—

## 7 会議に参加した者の氏名（敬称略）

- ・委 員：佐藤ゆかり（会長）、望月 博（副会長）、大島煦美子、西田絵美、  
田中枝利子、吉澤正好、細田磨美、原野聖子、菘和 章、石野和美、  
仙田純也、吉村牧絵、江口理恵子、須藤和子、池原浩子、川野久盛、  
長井泰雄
- ・事 務 局：共生まちづくり課 太田課長  
男女共同参画推進センター 道場センター長
- ・関 係 課：広報対話課、人事課、契約検査課、危機管理課、人権・同和対策室、  
市民相談センター、福祉課、高齢者支援課、すこやかなくらし包括支援センター、  
健康づくり推進課、保育課、こども課、産業政策課、農政課、  
学校教育課、社会教育課、スポーツ推進課、農業委員会事務局

## 8 審査の内容

- (1) 第3次男女共同参画基本計画に基づく令和3年度取組実績について

### 【池原委員】

（資料1・令和3年度男女共同参画推進センター事業実績について）

今後の課題として「相談窓口の充実と周知の強化に努める」とあるが、令和4年度にどのような対策を実施しているのか。(1 ページ右下・女性相談事業)

(回答)

関係機関との更なる連携・協力を図っていくことや研修等への積極的な参加による相談員のスキルアップに取り組むほか、広報上越、センター情報紙、市ホームページ等への掲載や女性相談啓発カードの配布などで、広く女性相談窓口の周知を行っています。(事務局・男女共同参画推進センター)

**【池原委員】**

(資料1・令和3年度男女共同参画推進センター事業実績について)

リプロダクティブ・ヘルス/ライツの開催実績がなかったが、重要なテーマであるので積極的に取り組んでほしい。(2 ページ右下・出前講座開催実績)

(回答)

リプロダクティブ・ヘルス/ライツは認知度の点や専門性を要する点などにより、他のテーマの出前講座に比べて開催が難しいものと思われていますが、出前講座の利用を周知する中で、この分野での講座開催を促してまいります。(事務局・男女共同参画推進センター)

**【池原委員】**

(資料1・令和3年度男女共同参画推進センター事業実績について)

女性登用について、充て職の整合性を吟味したうえで人数の調整を行い、市民(女性)を増やせないか。(3 ページ左中・各種審議会等における女性委員の登用状況)

(回答)

審議会等の委員の組織構成や人数の変更については、条例や要綱の改正が必要となることや委員の選任条件として専門的な資格や経験等を要するなど難しい面がありますが、引き続き、女性委員を推薦してもらえるように働きかけをするなど、少しずつ登用率を上げていきたいと思っております。(事務局・男女共同参画推進センター)

**【池原委員】**

(資料2-2・1ページ・2段目について)

紙面作成について「登録団体懇談会での意見を反映させて」とあるが、懇談会の出席率が悪いので意見が反映されているとは言い難いのではないか。

(回答)

懇談会を欠席した委員へも書面の提出等で紙面作成についての意見聴取をしています。懇談会への出席率が悪いという点については、今後も全ての団体に対して呼びかけていきます。(事務局・男女共同参画推進センター)

【池原委員】

(資料2-2・1ページ・10段目について)

女性消防団員の人数を明示してほしい。

(回答)

女性消防団員は、令和4年8月1日現在で14名です。(危機管理課)

【池原委員】

(資料2-2・3ページ・5段目について)

情報提供がなかったことを理由に「B ほぼ達成」と評価してよいのか。

(回答)

労働環境の向上のための情報掲載は、それに関する情報提供がなかったためできなかったが、従業員の雇用環境の維持を図るための雇用調整助成金等について掲載したことで、関連して情報提供を図ることができたので「B ほぼ達成」としたものです。(産業政策課)

【池原委員】

(資料2-2・5ページ・1段目について)

目標が「1講座以上開催する」とあるが、2講座とするなど積極的な目標設定をしてほしい。

(回答)

この分野(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)は専門性を要するため開催が難しい面があるが、今後は2講座以上の開催を検討したいと思います。(事務局・

男女共同参画推進センター)

【池原委員】

(資料2-2・7ページ・8段目について)

この派遣研修を除き、男女の研修機会は全く平等なのか。

(回答)

市の中堅幹部として必要な行政管理能力・政策形成能力を習得する研修の機会は、男女均等に付与しています。(人事課)

※ 参考意見など

【大島委員】

・今以上にプランの充実した推進には、行政も市民もあらゆる人たちが「アンコンシャス・バイアス」、すなわち無意識に持っている先入観、偏見や思い込みへの気づきとジェンダーに敏感な視点を持つことが必要で大切なことと感じる。

【池原委員】

- ・男女共同参画推進センターの図書コーナー周辺の照明を明るくしてほしい。
- ・「アンコンシャス・バイアス」を啓発した展示会は、時機も得て市民の関心も高まり良かった。
- ・男女平等教育に関する研修への参加割合が低かったようだが、子どもへの意識啓発こそ重要なので今後を期待したい。
- ・全体の達成状況は「A評価」と「B評価」で9割以上だが、現実はそのような数値に甘えていられないというのが実感である。意識の問題は根深いので、現実を厳しく見つめて、一歩ずつ歩んでいくことを忘れないことである。

【川野委員】

- ・あらゆる面で変化の激しい現代にあって、男女共同参画基本計画の進捗状況や自身の平等観について勉強させてもらい感謝している。
- ・市議会の女性議員が増えたが、更に半数程度にしていくことを男女共同参画基本計画の中で進めることは無理であろうか。

### 【長井委員】

・男女共同参画は、人権問題、民主主義の問題と認識している。世代により受けてきた教育や認識、感覚は異なり、理想の社会の実現のためには、ある程度長期的な時間が必要と思う。今必要なこととして、出前講座を発展させた形での地域住民との本音の話し合い、男女の特性を含めた本質的な論議を要望する。

以上

## 9 問合せ先

自治・市民環境部共生まちづくり課 男女共同参画推進センター

TEL : 025-527-3624

E-mail : d-sankaku@city.joetsu.lg.jp

## 10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。